

2023年4月3日

新潟大学医学部災害医療教育センターWEB セミナー 「オンライン版スフィアハンドブック研修」開催要項

新潟大学医学部災害医療教育センター

1. 目的

国内外の災害、復興、開発現場での活動の質をより高めるために、支援活動に関わる者が、人道・緊急支援の質とアカウンタビリティに関する国際基準の成り立ちや諸原則についての基礎的知識を身につけ、各自の活動などに活用につなげること。

2. 背景

近年、海外の大規模災害や紛争時の支援現場では、人道支援を行う際に参照すべき視点や対応方法をまとめた「スフィア基準」のような国際基準が活用され、支援の質を高める努力がなされています。

しかし、東日本大震災の支援において、こうした国際基準に基づいた活動はほとんどなされず、劣悪な環境で避難生活を送る多くの被災者に災害関連健康被害が発生し、災害関連死につながりました。その反省を受けて、現地のニーズに合った支援、現地関係者の意見の反映、脆弱な立場にある人々をさらなる危害にさらさないために、関係者への説明責任、団体間の連携や協力、スタッフの安全確保など、支援のあり方が見直され、今後の災害支援等の現場で活かされる必要があります。わが国（内閣府(防災担当)）でも、平成28年4月に発表した「避難所運営ガイドライン」の中で、「人道憲章の枠組みに基づき、生命を守るための主要な分野における最低限満たされるべき基準」がまとめられた文書として「スフィア・ハンドブック」を紹介しています。さらに同ガイドラインでは、「今後の我が国の「避難所の質の向上」を考えると、参考にすべき国際基準となります。」と記載しています。

(http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_guideline.pdf)

こうした支援の質とアカウンタビリティの向上を推進するために、2015年7月に支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)が設立され、国際社会における人道支援諸原則、基準類の普及、提言、人材育成、発信などが行なわれています。

本研修は、2018年に発行された(邦訳版は2019年発行)最新版の「スフィア・ハンドブック(第4版)」をテキストとします。

3. 研修の目標

国内外の人道・開発支援、防災に関わる者が知っておくべき国際基準の一つ「スフィア基準・スフィア・ハンドブック」の構成、内容を理解すること。

4. 主催・共催・後援

- ・ 主催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- ・ 共催 支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)
日本ファーストエイドソサエティ(JFAS)
新潟大学 災害・復興科学研究所
- ・ 後援(申請中) 新潟県、新潟県医師会

5. 日時 2023年5月13日(土) 9:00-16:00 (ライブ講習1日目)
2023年5月20日(土) 9:00-12:00 (ライブ講習2日目)
※全ての日程の参加を必須とします。詳しくは下記6.を参照ください。

6. 内容・プログラム (予定)

本プログラムは次の①～⑦の7要素から構成されます。①②⑤は、受講者各自に自習いただきます。③④⑥はZoomでのライブ講習とし、講義や質疑応答、受講者同士で理解を深めます。

	プログラム	実施方法	目安時間	提出期限・実施日時	内容
①	事前課題	自習	1時間	—	・指定資料の通読
②	オンライン研修プログラム (e-learning)	自習	1-2時間	提出期限： 5/9(火)正午	Sphereが提供する”How to be a Sphere Champion”(無料、日本語・英語) Sphere e-learning 利用者登録(無料)が必要となります。 各人でアカウント取得後受講願います。 https://spherestandards.org/online-courses/ ◆本 e-learning の受講後、事前課題を提出いただきます ◆事前課題の提出ができた方のみ、ライブ講習1日目に進むことができます
③	ライブ講習 1日目午前	Zoom ミーティング	3時間	5/13(土) 9:00-12:00	・事前課題についての質疑応答 ・人道支援の定義や4原則、スフィア基準の歴史的背景等
④	ライブ講習 1日目午後	Zoom ミーティング	3時間	5/13(土) 13:00-16:00	・スフィア・ハンドブックの構成、CHS(人道支援の必須基準)および技術的章の最低基準の構成 ・グループワーク ・質疑応答 ※講習後30分程度任意参加の交流有り
⑤	中間課題	自習	2-3時間	提出期限： 5/16(火)正午	・指定の個別課題 ◆中間課題の提出ができた方のみ、ライブ講習2日目に進むことができます
⑥	ライブ講習 2日目	Zoom ミーティング	3時間	5/20(土) 9:00-12:00	・中間課題で作成したワークシートを基にCHSの各コミットメントを振り返る ・グループワーク ・質疑応答 ※講習後30分程度任意参加の交流有り
⑦	アンケート	—	—	提出期限： 5/23(火)正午	◆①～⑦の全過程を修了されると、修了証が発行されます。

7. テキスト 「スフィア・ハンドブック(第4版)」

1997年人道援助を行うNGOのグループと国際赤十字・赤新月運動によって、スフィア・プロジェクトという災害援助における行動の質を向上し、説明責任を果たすために必要な人道憲章の枠組みづくりと、生命を守るための主要4分野における技術的基準が取りまとめられました。

「スフィア・ハンドブック」はその成果物として、人道憲章、権利保護の原則、人道支援の必須基準、4分野の技術的基準が取りまとめられ、改訂されてきました。現在の最新版は2018年発行の第4版です。(※受講者には日本語版の冊子を送付します。)



8. 講師

五十嵐 豪 (いがらし ごう)

特定非営利活動法人 CWS Japan

岡野谷 純 (おかのや じゅん)

特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ

9. 参加対象者・人数

対象 医療関係者、行政関係者、救護関係者（消防、警察、海上保安庁、自衛隊など）、国内外で活動するNGOスタッフ、国内で支援活動をするNPOや団体に所属する方、災害時にボランティアスタッフとして活動する意向のある方など、人道・緊急支援に携わっている方、またはその予定がある方

人数 27名程度（定員を大幅に超過する場合は選考する場合があります）

10. 参加費

無料。ただし、インターネット接続にかかる費用は参加者で負担

11. 受講者募集

2023年4月3日(月)~2023年4月28日(金) 正午

以下のURLまたはQRコード、当センターHPからご登録ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/dfa660d2197180>



12. 採否の連絡

2023年4月28日(金)までにご本人宛メールアドレスに連絡します。

13. その他

- 1) 受講採用者には開催案内と一緒に事前課題をご案内します。
- 2) 期日までの事前・中間課題提出も含め、プログラム①~⑦全日程の参加が必須となります。
- 3) Zoomでのライブ講習時には、グループディスカッションを実施しますので、カメラとマイクをONにしての参加を必須とします。

【本件に係る問い合わせ先】

新潟大学医学部災害医療教育センター 担当：内山

〒951-0810 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757

電話 025-227-2033 E-Mail disaster@med.niigata-u.ac.jp

HP <https://www.med.niigata-u.ac.jp/disaster/>